

平成23年度～27年度

基本目標1 安全で良質なおいしい水をいつでも供給できる水道

施策評価調書（基本目標別）

様式 - 2

基本目標	1 安全で良質なおいしい水をいつでも供給できる水道
	主要施策（1）～（2）
施策の趣旨	主要施策（1） 安定給水の確保 水道事業者の最大の使命は、水道水を将来にわたって安定的にお客様にお届けすることです。そのために必要な水源や、浄・給水場、送・配水管等の水道施設を過不足なく確保し、かつ適切に維持・管理をすることができるよう、計画的な取組を推進していきます。
	主要施策（2） 安全で良質なおいしい水の供給 安心して使える安全で良質なおいしい水をお客様にお届けするため、原水の水質に効果的に対応できる高度浄水処理システムを順次、浄水場に導入するとともに、水道施設からお客様の蛇口まで一貫した「おいしい水づくり」を推進し、併せて、水質管理の一層の強化を図ります。

評価結果の概要	基本目標1においては、2つの主要施策の下に7の主な取組を位置付けております。各施策及び取組 [※] について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、27年度については、 I 「達成状況」に係る評価は、3つの取組を「a」評価（達成している）、3つの取組を「b」評価（概ね達成している）としました。 II 「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（1）、（2）共に「a」評価（成果が出ている）としました。 また、5か年については、 I 「達成状況」に係る評価は、主要施策（1）の取組③「浄・給水場の設備等の更新」及び主要施策（2）の取組①「高度浄水処理システムの導入」について「c」評価（未達成だが進展している）としましたが、他の取組については、2つの取組を「a」評価（達成している）、2つの取組を「b」評価（概ね達成している）としました。 II 「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（1）、（2）共に「a」評価（成果が出ている）としました。 ※ 主要施策（1）の主な取組①「水源の安定化」は、国の実施する事業に対する負担金の支払いであることから、評価の対象からは除外しています。

主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果			
(1) 安定給水の確保	「成果」	27年度：a	5か年：a
主な取組	「達成状況」	27年度	5か年
①水源の安定化 [※]		-	-
②水道施設の長期的な整備方針の策定		a	a
③浄・給水場の設備等の更新		b	c
④管路の更新・整備		b	b
(2) 安全で良質なおいしい水の供給	「成果」	27年度：a	5か年：a
主な取組	「達成状況」	27年度	5か年
①高度浄水処理システムの導入		a	c
②おいしい水づくりの推進		b	b
③水質管理の強化		a	a

<p>外部評価会議 委員の評価</p>	<p>「達成状況、成果」について の内部評価の妥当性</p> <p>A : 妥当である 人 B : 概ね妥当である 人 C : 不十分である 人</p>	
<p>外部評価会議 委員の主な意見</p>		

施策評価調書（基本目標別）

基本目標	2 行き届いたサービスと高い技術力でお客様に奉仕する水道
	主要施策（3）～（4）
施策の趣旨	<p>主要施策（3） お客様サービスの推進</p> <p>お客様からいただく水道料金は様々な事業を通じてお客様への還元を図っています。多くのお客様に親しまれ、信頼される水道として、広聴・広報活動の一層の充実を図るとともに、接客マナーの向上、新たな料金収納形態の検討などお客様の視点に立った取組を推進します。</p>
	<p>主要施策（4） 次世代への技術の継承</p> <p>県内水道の中核にふさわしい高い技術レベルを維持し、安全で良質なおいしい水を将来にわたってお客様へお届けできるよう、長年培ってきた県営水道の技術力と現場対応力を効果的な方法で次世代職員に継承していきます。</p>

評価結果の概要	<p>基本目標 2 においては、2つの主要施策の下に6の主な取組を位置付けております。各施策及び取組[※]について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、27年度については、</p> <p>I「達成状況」に係る評価は、4つの取組について「a」評価（達成している）、1つの取組について「b」評価（概ね達成している）としました。</p> <p>II「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（3）、（4）共に「b」評価（概ね成果が出ている）としました。</p>
	<p>また、5か年については、</p> <p>I「達成状況」に係る評価は、5つの取組について「a」評価（達成している）、1つの取組について「b」評価（概ね達成している）としました。</p> <p>II「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（3）、（4）共に「b」評価（概ね成果が出ている）としました。</p> <p>※ 主要施策（4）の主な取組②「体験型研修施設の整備検討」は、25年度に施設整備を当面見送るとした方針決定により、取組を終了しました。</p>

主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果			
(3) お客様サービスの推進	「成果」	27年度：b	5か年：b

主な取組	「達成状況」	27年度	5か年
①広聴・広報の充実		a	a
②「お客様の声」の事業運営への活用		a	a
③接客マナーの向上		b	b
④新たな料金収納形態の検討		a	a
(4) 次世代への技術の継承	「成果」	27年度：b	5か年：b

主な取組	「達成状況」	27年度	5か年
①実践的な技術研修の実施		a	a
②体験型研修施設の整備検討		-	a

<p>外部評価会議 委員の評価</p>	<p>「達成状況、成果」について の内部評価の妥当性</p> <p>A : 妥当である 人 B : 概ね妥当である 人 C : 不十分である 人</p>	
<p>外部評価会議 委員の主な意見</p>		

施策評価調書（基本目標別）

様式 - 2

基本目標	3 地震等の非常時に強い水道
	主要施策（5）～（6）
施策の趣旨	<p>主要施策（5） 危機管理体制の強化 地震や事故等によって水道施設が被災した場合に、断水等のお客様への影響を、短時間かつ最小限にすることができるよう、職員等の活動体制の充実・強化を図るとともに、給水区域内 11 市との連携強化に努めます。</p> <p>主要施策（6） 緊急時における水融通体制の確保 地震等により浄・給水場の機能が停止した場合に、断水等の影響を受ける地域を最小限にすることができるよう、他の施設とのバックアップ体制を整備するとともに、水道用水供給事業者との水の相互融通についても検討・協議を進め、水融通体制の確保を図ります。</p>

評価結果の概要	<p>基本目標 3 においては、2つの主要施策の下に5の主な取組を位置付けております。各施策及び取組※について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、27年度については、</p> <p>I 「達成状況」に係る評価は、4つの取組について「a」評価（達成している）としました。</p> <p>II 「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（5）については「b」評価（概ね成果が出ている）としました。</p> <p>また、5か年については、</p> <p>I 「達成状況」に係る評価は、5つの取組について「a」評価（達成している）としました。</p> <p>II 「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（6）については「a」評価（成果が出ている）、主要施策（5）については「b」評価（概ね成果が出ている）としました。</p> <p>※ 主要施策（6）の主な取組①「浄・給水場間バックアップ体制の整備」は、26年度に北総浄水場機能停止時におけるバックアップ体制が整備されたことにより、取組を終了しました。これにより、主要施策（6）の5か年の成果目標「北総浄水場機能停止時における安定給水人口率：100%」を26年度に達成しました。</p>
---------	--

主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果			
(5) 危機管理体制の強化	「成果」	27年度： b	5か年： b

主な取組	「達成状況」	27年度	5か年
①応急活動体制の強化・拡充		a	a
②緊急時における初期活動体制の強化		a	a
③給水区域内 11 市との連携強化		a	a
(6) 緊急時における水融通体制の確保	「成果」	27年度： -	5か年： a

主な取組	「達成状況」	27年度	5か年
①浄・給水場間バックアップ体制の整備		-	a
②水道用水供給事業者との水融通体制の確保		a	a

<p>外部評価会議 委員の評価</p>	<p>「達成状況、成果」について の内部評価の妥当性</p>	
	<p>A : 妥当である 人 B : 概ね妥当である 人 C : 不十分である 人</p>	
<p>外部評価会議 委員の主な意見</p>		

施策評価調書（基本目標別）

様式 - 2

<p>基本目標</p>	<p>4 環境に優しい水道</p> <p>主要施策（7）</p>
<p>施策の趣旨</p>	<p>主要施策（7） 環境対策の推進</p> <p>環境保全に配慮した水道事業を推進するため、大量に使用している電力を節減し、併せて、再生可能なエネルギーの活用により、購入電力量の一層の削減を図るとともに、浄水場発生汚泥や建設発生土のリサイクル（再資源化）に引き続き取り組んでいきます。</p>

<p>評価結果の概要</p>	<p>基本目標 4 においては、1つの主要施策の下に3の主な取組を位置付けております。各施策及び取組[*]について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、27年度については、</p> <p>I 「達成状況」に係る評価は、取組①「省エネルギー - 化の推進」について「c」評価（未達成だが進展している）としましたが、他の取組については、1つの取組を「a」評価（達成している）、1つの取組を「b」評価（概ね達成している）としました。</p> <p>II 「成果（効果）」に係る評価は、「a」評価（成果が出ている）としました。</p> <p>また、5か年については、</p> <p>I 「達成状況」に係る評価は、取組①「省エネルギー - 化の推進」については「c」評価（未達成だが進展している）、取組②「再生可能エネルギー - の活用」については「a」評価（達成している）、取組③「資源リサイクルの推進」については「b」評価（概ね達成している）としました。</p> <p>II 「成果（効果）」に係る評価は、「a」評価（成果が出ている）としました。</p>
----------------	--

<p>主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果</p>			
<p>(7) 環境対策の推進</p>	<p>「成果」</p>	<p>27年度： a</p>	<p>5か年： a</p>
<p>主な取組</p>	<p>「達成状況」</p>	<p>27年度</p>	<p>5か年</p>
<p>①省エネルギー - 化の推進</p>		<p>c</p>	<p>c</p>
<p>②再生可能エネルギー - の活用</p>		<p>a</p>	<p>a</p>
<p>③資源リサイクルの推進</p>		<p>b</p>	<p>b</p>

<p>外部評価会議 委員の評価</p>	<p>「達成状況、成果」について の内部評価の妥当性</p> <p>A : 妥当である 人 B : 概ね妥当である 人 C : 不十分である 人</p>	
<p>外部評価会議 委員の主な意見</p>		

施策評価調書（基本目標別）

様式 - 2

基本目標	<p>5 安定した経営を持続できる水道</p> <p>主要施策（8）～（10）</p>
施策の趣旨	<p>主要施策（8） 人材の確保と育成 人材面から経営基盤の強化を図るため、計画的な採用を進めるとともに、職員一人ひとりが企業人としての自覚をもち、水道事業の遂行に必要な知識と能力を十分に習得できるよう、研修等の機会を通じて人材の育成を進めていきます。</p> <p>主要施策（9） 業務能率の向上 適正で能率的な業務運営を確保し、お客様に信頼される経営を推進するため、職員の業務能率の向上を図ります。併せて、業務処理の迅速化を図るため、計画的に情報化を推進するとともに、お客様の個人情報等については管理を徹底します。</p> <p>主要施策（10） 経営体質の強化 水道施設の大規模更新に伴う資金需要の増大等に備え、引き続きコスト削減を進めるとともに、収益の安定性の確保を図ります。また、県営水道の望ましい経営形態について研究を進めるなど、経営体質の強化に資する取組を幅広く行います。</p>

評価結果の概要	<p>基本目標5においては、3つの主要施策の下に9の主な取組を位置付けております。各施策及び取組[※]について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、27年度については、</p> <p>I 「達成状況」に係る評価は、9つの取組について、「a」評価（達成している）としました。</p> <p>II 「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（9）、（10）については「a」評価（成果が出ている）、主要施策（8）については「b」評価（概ね成果が出ている）としました。</p> <p>また、5か年については、</p> <p>I 「達成状況」に係る評価は、6つの取組については「a」評価（達成している）、2つの取組については「b」評価（概ね達成している）としました。</p> <p>II 「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（9）、（10）については「a」評価（成果が出ている）、主要施策（8）については「b」評価（概ね成果が出ている）としました。</p> <p>※ 主要施策（10）の主な取組③「経営形態等に関する調査研究」については、計画策定時に5か年の達成目標を設定しなかったため、5か年の評価については評価の対象からは除外しています。</p>
---------	---

主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果			
(8) 人材の確保と育成	「成果」	27年度：b	5か年：b

主な取組	「達成状況」	27年度	5か年
①計画的な人材確保		a	a
②職員の育成と能力開発		a	a
(9) 業務能率の向上	「成果」	27年度：a	5か年：a

主な取組	「達成状況」	27年度	5か年
①効率的な業務運営の確保		a	b
②情報化の推進		a	b
③情報の適正管理		a	a

(10) 経営体質の強化	「成果」	27年度：a	5か年：a

主な取組	「達成状況」	27年度	5か年
①品質確保に留意したコスト削減		a	a
②収益の安定性の確保と財務改善		a	a
③経営形態等に関する調査研究		a	-
④経営分析の活用		a	a

外部評価会議 委員の評価	「達成状況、成果」について の内部評価の妥当性	
	A：妥当である 人 B：概ね妥当である 人 C：不十分である 人	
外部評価会議 委員の主な意見		